

## 【地域協働推進課からのお知らせ①】 防災井戸端会議 in 余市

～みんなで考えよう！余市の津波防災～

日時：3月18日（日） 午後1時30分～午後4時30分

申込不要・参加無料  
どなたでも参加できます

場所：中央公民館 3階 301会議室

北海道が平成29年2月に「日本海沿岸における津波浸水想定」を公表。これを受けて、本町では新たな防災ガイドマップ（津波ハザードマップ）を作成中です。

そのような中、町民の皆さんを中心として、津波防災について一緒に考え、地域の防災力向上を図ることを目的とした「防災井戸端会議 in 余市」を開催します。

主催 余市町、北海道  
東京大学地震研究所

※防災井戸端会議は文部科学省委託研究「日本海地震・津波調査プロジェクト」の一環として開催されます。



### 第一部：講話

#### ① 「日本海側の津波の特徴」

東京大学地震研究所教授 佐藤比呂志



#### ② 「東日本大震災における津波防災と日本海側沿岸部における津波防災の違い」

東京大学大学院情報学環  
総合防災情報研究センター特任准教授 関谷直也



### 第二部：防災井戸端会議（ワークショップ）

#### 「みんなで考えよう！余市の津波防災」

東北大学災害科学国際研究所助教 定池祐季

## 【地域協働推進課からのお知らせ②】 津波避難ビルに関する協定を締結

この度、町内の民間施設と津波避難ビルとして施設を使用するための協定を締結しました。

### ① 津波避難ビルとは

津波避難ビルは、津波発生時や津波発生のおそれがある場合に緊急避難場所として使用する施設です。緊急時には、正面入口もしくは屋外階段を利用して、できる限り上の階へ避難してください。

### ② 協定の目的

近隣に高台などの避難場所がない地域において、津波の危険から逃れるための緊急避難場所を確保することを目的としています。

### ③ 協定を締結した施設

- ・グランデリビエール 大川町 2丁目26番地
- ・ホテルサンアート 大川町 6丁目35番地
- ・太陽ハイツ 大川町14丁目 5番地1



## 【地域協働推進課からのお知らせ③】 平成29年度 原子力防災訓練を実施しました



2月5日（月）・8日（木）、北海道と泊原発周辺13町村及び避難先市町村などが、泊原発での重大な事故を想定した原子力防災訓練を実施しました。

訓練は、後志地方西部を震源とする地震（最大震度6強）が発生し、泊村で震度4を観測するとともに、数年に一度の猛吹雪が発現する中、稼働中の泊原発3号機が自動停止し、炉心の損傷により放射性物質が放出されたとする想定で行われました。

▲災害対策本部運営訓練 本町では、災害対策本部を設置し、共和町のオフサイトセンターや一時滞在場所である札幌コミュニティドーム（つどーむ）へ要員を派遣して運営訓練を実施したほか、観光客など一時滞在者の避難手順を確認することを目的とした観光施設との通信連絡訓練や社会福祉施設、学校、病院などとの通信連絡訓練及び施設における屋内退避訓練を実施しました。

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

## 余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「平常レベル」でした

測定日：1月24日～2月20日  
最高値：39nGy/h  
最低値：22nGy/h  
平均値：27nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60ナノグレイ毎時（nGy/h）程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

問合せ 地域協働推進課 ☎21-2142